



同志社

東京
ジャーナル

NO.96

同志社
東京校友会

DOSHISHA
TOKYO JOURNAL
2014.JUL NO.96



同志社大学提供

2014 同志社東京 春の集い

「同志社グローバルizm」一国の「良心」、世界の「RYOSHIN」



同志社校友会東京支部

【今号の記事】

- ・2014同志社東京校友会春の集いリポート
 - ・実行委員長の振り返り
 - ・宮本慎也氏トークショー
 - ・参加者の声
 - ・2015実行委員長の決意
- ・片桐家同志社五代記(十)
- ・連載コラム「今出川四季」
- ・校友訪問(魚谷雅彦氏)
- ・同志社スポーツ
- ・年次会 & 校友サークルリポート
- ・マーケティング研究会
- ・すみれ亭
- ・東京オフィス開所式
- ・お知らせ

写真:「2014年春の集い」で開会宣言をする香月委員長

2014 春の集いレポート

2014同志社東京校友会「春の集い」レポート

500人を超える情熱と誇りが爆発！



壇上で挨拶する児玉正之会長

第16回となる今年の「春の集い」は昭和45年卒業生が主体となり実行委員会を組織、昭和55年卒業生が副委員長や協力委員として実行委員会に加わり、総勢50名態勢で企画・運営がなされた。

薫風皐月晴れの日曜日に、昨年並みの500名を超える同志社OB・OGが参加して首都圏でのオール同志社の結束力を示した。また、今年は天気にも恵まれて、26名の当日申込み参加者があった。

開場は正午。しかし、いままがらの光景で、受付開始を待ちきれずに会場に現れる人が多く見られた。受付時間になると、ロビーは旧友と久しぶりの再会を喜び話が弾む多くの校友で混雑した。



開会祈祷 牧師：松井愛美氏

メイン会場ロイヤルホール前のホワイエでは、同志社グッズの販売コーナーや募金活動である「八重さんクッキー」の販売、当日ゲストである元ヤクルトスワローズの宮

本慎也氏の著作本販売テーブルも設けられ、多くの人で賑わった。また、昭和34年次会の総会が同時開催された。

午後1時、式典の幕開けは東京クローククラブによるカレッジソング。続いて、松井愛美牧師の開会祈祷、讃美歌312番「いつくし深き友な

るイエスは」の斉唱により厳かな式典の始まりとなった。

いよいよ、開会宣言する香月宏三実行委員長が登壇。まずは今年も多くの校友に参加頂いて16回目の春の集いを開催出来る事を感謝された後、今年のテーマと開催意義について少子化で厳しい競争環境の中、「同志社こそがグローバル展開が相応しい大学であり、現在の大学国際化競争勝ち残



懇親会の鏡開きの様子

りへのエールである。また、グローバル社会での同志社の『良心』を考察する良き機会にしたい」と力強く挨拶された。

また、主催者として同志社東京校友会の児玉正之会長は、昨年の春の集いの後を受け、今年はどうなる事かという心配がある中で、校友の皆様の御陰でほぼ昨年同様の参加者を得て開催出来た事を感謝し、次いで「京橋へ移転拡張した同志社大学東京オフィス内に校友会東京オフィスが開設された事を契機に、首都圏での校友会活動を一層活発化した」とアピールした。



東京クローククラブによるカレッジソング・讃美歌の斉唱

引き続き来賓挨拶として学
校法人同志社の大谷實総長、
同志社校友会の井上礼之会長
が登場。

大谷総長は春の集いの開催
をお祝い申し上げると話し始
められた。その後「一国の良心
ともいべき人物」を世に送り
出すこと。即ち、道徳心を磨き、
品性を高め、精神を正しく強め
るように勤め、ただ技術や才能
ある人物を育成するだけでなく、
いわゆる『良心を手腕に運
用する人物』の養成が同志社教
育の理念である。」と挨拶。



大谷實総長

また、井上校友会長は春の
集い一六回目の開催をお祝い
された後、二期目の校友会会
長に就任し新たな気持ちで全
国校友会活動を盛り上げて行
きたいと想いを語られた。
まずは「校友会本部と支部
の関係」をより強くし、名簿情

報の共有等、財政支援、会員拡
大連携等取り組みを継続して
進めて行く。二番目に「大学と
の連携」はより密に進めて行き
たい。特に大学創立150周年に向
けたビジョンが今年発表され
るので、その内容を校友会活動
の事業計画に反映して行きた
い。三番目に「校友会運営」につ
いても、校友の意見を公平性・
透明性・納得性をもって反映
出来るよう、昨年会則を改正し
たが、今後も継続して行きたい。
また今年の2月に2200人
を超える校友が集まり大懇親
会を開催したが、この11月にも
第二回目の大懇親会を予定し
ており、多くの校友に参加して
頂くようお願いしたいと挨拶。



井上礼之会長

最後は東京クローバークラ
ブによる同志社大学歌で第一
部式典の締めくくりとなった。
(実行委員会)

特別「同志社国際化の現状と今後の展望」 講演

同志社大学学長 村田晃嗣

まず「国際化」と「グローバ
ル化」の違い。「国際化」は国
内と国外の変化にどのような
に対応するとかいうことで、
「グローバル化」は国内・国外
の変化そのものが不可避的
トレンドです。

今、日本は急速な少子化に
突き進んでおり、2025年
頃には中国が世界第1の経済
大国になり、日本は第5位に
転落すると予測されています。
十年後の日本経済がどうなる
かは比較的容易に予測できま
すが、三十年後となると予測
する事は大変困難です。たと



特別講演での村田晃嗣学長

現代のように変化のスピー
ディが速い時代にはリベラル
アーツの教育が大変重要です。
現在、同志社大学には1学年、
6000人の学生が学んでお
り、この5%（3000人）に
4年間を通して英語でグロー
バルなリベラルアーツ教育を
受けさせたいと考えています。
また今後海外に同志社大学
の拠点を3つくらい作りたい
と考えています。

まず、アモスト大学の中
に同志社の拠点を作りたい
と思っています。二つ目はド
イツのチューリッゲン大学
との提携を模索中であり、三
つ目はマレーシアに拠点を
作ることです。

また、国内においては、例え
ば、老朽化した大成寮や此春
寮をイノベートして、海外か
らの留学生を受け入れ、日本
の学生と寝食を共にするグ
ローバル教育の環境整備を行
いたいと考えております。
もし、来年の「春の集い」
にお招きいただけましたな
らば、1年間の取り組み結果
についてご報告ができると
思っております。

我妻誠(昭40・文)

2014 春の集いレポート

スペシャルトークショー 宮本慎也氏

私の野球人生と同志社 〜生き方と考え方の原点〜

NHK野球解説者／元ヤクルトスワローズ選手（平6・商）

ゴールドングラブ賞を10度受賞するとともに二〇〇〇本安打をも達成した宮本慎也氏はプロ野球界のスーパースターです。彼の輝かしい野球人生の中で同志社時代はどう位置付けられるのか、当時の野球部マネージャー三上明子氏を聞き手に、思い出話を交えながら語り合っていました。

PL学園で一年先輩の片岡篤史氏（日ハム、阪神）から受けた鉄拳事件の顛末は含蓄に富んだものでした。

同志社大学入学もPLの先輩や友人が「一緒に野球をやる」と熱心に誘ってくれたのが決め手になったとか。人と人の縁を感じる話です。

トークはいきなり大相撲の解説をしたという変化球から入りました。会場の雰囲気是和らいだところで、野球との出会いからPL学園、同志社大学、プリンスホテルとアマチュア球界のエリートコースを経てヤクルトスワローズに入団、プロで活躍するようになるまでがテンポよく語られました。

秋のリーグ戦では一転、絶不調に陥るのです。詳しい原因は語られませんが、どうやら慢心があつたようです。そんな折、野口監督から「言い訳をするな」ときつく叱責され、言い訳は進歩の敵であると諭されます。上のレベルを目指す宮本氏の心に強く響いたそうです。野口監督には野球の技術はもちろん、それ以外にも大切なことを教わり、今の自分の礎になっていると感謝の気持ちを忘れません。



壇上でトークする宮本慎也氏(左)と聞き手の三上さん(右)

良き指導者と良き仲間めぐりあい、プロで通用する技術力と人間的な素養を磨いた時期が同志社時代と言えるかも知れません。

事前の打合せで宮本氏の将来に話が及んだ時、三上氏は「二〇二〇年の東京オリンピックで宮本侍ジャパンを見たい」と言いました。私も全く同感です！

中牧 潤（昭45年・商）

「春の集い」を振り返って

実行委員長 香月宏三

「2014同志社東京・春の集い」を無事終えることができました。お陰様で今年も会場溢れんばかりの500名を超える校友の皆様にご参加いただき、盛会となりました。と厚く御礼申し上げます。

「2014春の集い」をぜひ成功させようとの熱い思いと、盛会・参加者満足度向上・収支黒字の目標を掲げ、幹事を引き継ぎました。

昨年7月の事務引継ぎから始まり、8月の実行委員会結成、その後の10回にわたる実行委員会合を経て、5月25日の開催を迎えました。経験・ノウハウともゼロからのスタートながら、実行委員全員の尽力と一致団結によって成功裡に終えたことは感無量です。

参加者数・広告収入ともに前年を上回る高い目標値の設定、また平成24年3月以降卒業生の参加費半額、視覚訴求のチラシ作製、異業種交流会の導入などの新しい試みも実施しました。大盛会で

あった前年の反動が心配されたにもかかわらず、昨年並みの参加者を得ました。また広告収入も目標を超え、ガイドブックも予算内での高品質確保など、難しい課題をクリアして「春の集い」にこぎ着けました。実行委員一人一人の各持ち場での努力と一致団結の賜物でございます。

参加者の校友の皆様から「大成功おめでとう」「大変充実した内容だった」とのお褒めの言葉をお掛けして頂きました。この10カ月の苦勞も報われた感じがします。

末尾となりましたが、今回の「春の集い」の開催にあたりまして、多大なるご支援を賜りました校友の皆様や校友関係企業様、及び長い間、準備にご献身いただきました昭和45年・昭和55年卒の実行委員の皆様改めて厚く御礼申し上げます。



香月宏三実行委員長

春の集い第三部は、親しく懇談が続く、異業種交流会、抽選会も行われた。

楽しい時間もアツと言う間に経過、恒例になった同志社大学応援団の皆様による演舞、カレッジソングを全員で斉唱、大いに盛り上がった後、来年の再会を期してお開きになった。

春の集い参加者のインタビュー

まず今年の東京校友会「春の集い」に536名の出席を得たことに、主幹事団の皆様のご努力に敬意を表します。

村田学長の歯切れの良いスピーチと、元ヤクルトスワローズ宮本氏のほのぼのとした対談は、聞き手を和ませてくれました。

この「春の集い」の最大の楽しみは、参加するたびに、校友の皆さんとの輪が一段と広がることです。そして多くのテーブルを「はしご」するうちに、気がつくと応援団とチアリーダーが登壇しており、肩を組みカレッジソングを歌った後、懇親会がもう少し長ければなあと、勝手な思いに耽りながら帰路につ



第三部 同志社大学応援団による演舞の様相

きました。

◆ 神内一憲 (昭47・商)

私が「春の集い」に初めて参加したのは2001年早稲田のリーガロイヤルホテルでの開催でした。

当時はまだ知り合いも見当たらず、壁際族だった記憶があります。

あれから13年、今では、48年次会の年間行事にもなっていて、多くの同期が参加し、初参加の仲間が今年も加わり、また、二次会も開催されるなど、今年は嬉しくもあり楽しい会になりました。

多くの実行委員会の方々への努力に支えられた会ではあります。平成年次の若い校友にとっても、「春の集い」

は、仲間が集まって楽しくなれる良い機会となることを期待したいと思います。

◆ 阪口章夫 (48年・商)

最若手グループのテーブルに4人の若者。特に最年少の和田誉さんは、平成26年・文化情報学部卒の新社会人で、名刺もできたといった感じの初々しさ。今回は実行委員会メンバーの紹介で参加。「時間的に少し短いかな、という感じですが、実際に諸先輩方のお話を伺えて勉強になりました」「参加費半額の特別措置は、4月から一人

2015年実行委員長の決意

同志社東京46会世話人 横山 徹 (昭46・工)

2014年度「春の集い」は見事に企画・運営され、まれにみる盛会のうちに幕を閉じました。

まずは、綿密周到な計画と膨大な準備を手際よく進められた昭和45年・昭和55年・平成2年卒の実行委員会の皆様方に



暮らしを始めたばかりで何かと出費も多い中、大変ありがたかった」とのこと。



左から和田誉、八木惇至、田村匡識、江藤崇満の諸氏

て「大学の大きな集まりに興味を持って」の参加。「異業種交流の試みは非常に興味がありました。今後は年齢別での集まりがあれば若い人も参加しやすいかな」という感想でした。

平成21年・文化情報学部卒の江藤崇満さんは「洛紫会」のイベント参加が今回の参加に繋がりました。「同志社人脈をビジネスに生かしたい。参加メリットをもっとアピールして30代の参加者を増やしてほしい」と語ってくれました。

谷村和典 (昭47・文)

対しまして、心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。今回の「春の集い」では、日々激変する国内外の環境変化に合わせた情報発信機能も兼ね備える、これからの「集いのあるべき姿」を学ぶことが出来ました。心より深く感謝申し上げます。

そんな中、来年は私も昭和46年・昭和56年卒・平成3年卒が大役を引き継ぎます。本年の成功の要因をしつかり

勉強し、実行委員会の素晴らしい団結力・企画力・実行力を範とさせていただきます。そして、早めに「集いコンセプト」を確立し、独創性・協調性と実行力で「いつまでも思い出に残る一日づくり」に挑戦できれば、と考えます。

これから一年、いろいろ皆様方にはお世話になります。ご指導・鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

連続企画 片桐家同志社五代記(十)

宮城基督教会の創立以来支え導いて来た宣教師デフォレストの死は、教会にとって大きな損失だった。彼は、教会内の活動のみならず、一八九六(明治二十九)年の三陸津波、

一九一〇(明治四三)年の東北大冷害の時には先頭に立ち救護募金を全米に訴え、また孤児達の救済に努め、更に日露戦争によって悪化した米国の対日感情に対し、日本を弁護する論文を発表するなど、様々な社会的活動を行い、広く社会から尊敬を集めていた。ちょうど教会の発展に伴い教会堂が狭くなって来ていた事もあって新教会堂の建設が計画されていた事から、「デフォレスト記念会堂」として建設する事になり、遂に一九一四(大正三)年石作りの堂々たる会堂が完成した。蕨のからまるアメリカンゴシックの会堂は、仙台駅の直ぐ近くにあり、第二次世界大戦で爆撃にあうまで仙台を代表する洋風建築として市民に親しまれたようだ。

建築に要した費用は、総額四七〇〇円という事が分かっているがどのように募金されたのか、献金者の氏名、金額など何の記録も残されていない。片桐家には、「ドーシテルノ」という一族の消息をお互いに交換し合う手づくりの回覧雑誌のようなものがある。これは清治の次男哲が発案者だったのだが一九一三(大正二)年に発刊し現在も続いている。それに当時清治が「デフォレスト記念会堂も募金おもうごとくあつたらざれど目下現金五千円程になりたるを以て、

今年は現在の地に石門鉄柵等を起工して、本堂は来年着手する事に相談をなせり」と記している、募金の苦心をしのばせている。清治は、教会の発展に熱心だっただけでなく、社会問題にも無関心ではなかったようだ。一九〇六(明治三九)年、東北地方は大凶作に見舞われ、農村に多くの孤児、捨て子が生じた。岡山の石井十次が

設立したキリスト教孤児院は、八二十四人の孤児を受け入れたが、宮城基督教会は東北の中継基地であった。仙台救済所と片桐清治の名は東北の孤児達にとって命の綱だったようだ。

清治、亀代は一九二五(大正一四)年金婚式を迎える。その祝賀会に東華学校の教え子であった内ヶ崎作三郎(早大教授・衆院議員)が送った祝辞に清治の生涯と人となりが纏められているので引用したい。

「片桐先生の伝道の特色は、出来うるだけ日本流に基督教を伝へやうとせらるる点でありませう。特に経済的に自給自立の教会を建設せられんとする努力は一段と見えるものがあります。花々しい活動は致されませんが、地味な堅実な風に教会を指導せられてゐるやうであります。これまでに教会を守り立てらるるまでの片桐先生の苦心は並大抵のものでなかったであります。」

片桐陽(昭42・工)

連載コラム 今出川四季

学生時代には時に考えられぬ行動に走ることがある。

二回生だったから昭和三十五年になるのだが、同じ下宿のA君から「今夜は徹底的に飲みたいから付き合ってくれ」と誘われた。私とほかに二人がA君に連れられて、四条河原町にくりだした。

といっても私は下戸、酒を飲みつつ話すと、人はそれぞれ愚痴をこぼすのだとわかり始めた頃であった。が、A君にしても他のふたりも決して酒飲みではない。四条河原町でまず行きつけの喫茶店に腰を下ろすと、A君は意外な言葉を口にした。実は今日、親父から年間授業料二万四千円が送られて来た。

このカネを四人で一晩バーやクラブに行つて使い果たしたい、そんな冒険がしたい、と言うのだ。初任給が一万円を越えたころではなかったか。私たちはひるんだ。ぜひ付き合え、大人の世界を見ようよ、成り行きというのだらうか、私たちはA君を先頭に立てクラブに入りホステスの接待を受けた。

学生さんの来るところじゃないのに、と言われながら、それでもあらかじめカネを見せてクラブに入った。二店ほど回つたのだろうか、私の記憶では明け方に八坂会館近くの安バーに座って酔眼で一夜の冒険を語り合った。飲めないハイボールを何杯か胃に流し込んでいたのでしきりに嘔吐感を催していたことを覚えてる。A君はどこのかキャバレーで千円のチップをホステスに渡したが、押し返してきて、「こんなところでおカネを学生が使つてはダメ」と叱られ「キャバレー、バーやクラブでカネを使う奴はバカだな」と言っていた。

それが四人の結論だった。朝の京都の街を出町柳まで歩きながら、私たちは自己嫌悪に陥っていた。だが四人とも何かとつてもない収穫を得たとの思いを持っていた。その後の人生で四人ともバー遊びに興じる者はなかった。A君はとつてもない高い参考書を買ったと親を騙した。

保阪正康(昭38・文)

新島精神の中核、「良心」を生かす企業活動を

2014年4月に資生堂の社長に就任した魚谷雅彦さんは1977(昭和52)年文学部英文科卒の校友。ご出身は奈良県。ライオン歯磨(現ライオン)入社後、コロンビア大学留学。2001年、日本コカ・コーラ社長、2006年から2011年まで同社会長のマーケティング統括顧問に就



校友訪問

魚谷雅彦さん
株式会社資生堂
代表取締役 執行役員社長
昭和52年・文学部卒

任。そして今回、あの資生堂が「外部から招いた人材に初めて経営を託した」ということで大きな話題を集め、内外から「魚谷改革」に大きな期待が寄せられている。時の人、超多忙の中、夕溜の本社・社長室で一時間、学生時代や新入社員時代のエピソードも交えながら、熱い思いを語っていただきました。

4人の「師」と新島襄

私は1954(昭和29)年6月生まれです。つい先日還暦を迎えたばかり。加えて、今年は結婚30周年で、東京に出てきて30年目。そこに資生堂の社長ということで、2014年はまさしくメモリアルイヤーとなりました。これからやらなければならぬことが山積していきま

すが、英語で言えばマイルストーン、ちょうど人生の一里塚のようなタイミングです。なので、お世話になった方々の思い出を中心に、来し方の自分の足跡を確認してみたいと思います。

まず、学校生活の中で「師」と言える4人の先生と出会えたことは、とてもありがたかったと感謝しています。奈良県五條市の小学3年生の時の担任の先生の「人は、どれだけ社会に貢献できる人間になれるかが大事だ」という教えは今も生き方の

基本となっています。中学時代は現在の奈良県葛城市でしたが、この時の担任の先生の厳しい指導によって、積極性、やる気の大事さに気付かせてもらいました。

高校は大阪の星光学院で、この時の英語の先生に「英語の基礎」を徹底的に叩きこまれました。型破りな先生でしたが、英文法の知識は豊かな方で、高校レベルでは相当高度な英語教育だったと思います。

そして、「英語が学べるところ」というので、同志社大学文学部英文学科に進むわけですが、ここで4人めの「師」と出会うことができました。当時最若手の助教授だった明石先生。アメリカ留学から帰ってこられたばかりで、白いGパンとか、存在そのものがアメリカ文化。そして、開口一番「君たちに、生きた英語を教えてやろう」というカッコよさでした。

私がアメリカ留学の希望を持つようになったのは、直接的にはこの明石先生の影響ですが、ちょうどその頃に校祖新島襄について知ることができたのも大きかったと思います。もちろん、新島襄については一般知識としては知っていましたが、ただ、大学で出会った、香里とか岩倉出身の、いわゆる「同志社育ち」の友人たちが「新島先生の素晴らしさ」を熱心に語っ

てくれたことで、さらに深く知ることができたのです。

そして、新島先生の罪人になることも覚悟しての脱国、アメリカでの苦学などに比べれば、現代の自分の留学実現への努力など大したことはなっていない、と思えるようになったのです。

一冊の本

留学制度のある企業というところでライオンに入社したのですが、当時、マーケティングで鳴っていたこの会社で、「それって、市場調査のことでしょう」といった程度の認識しかない新入社員でした。文学部卒としては、仕方なかったかもしれない。ただ、マーケティングというのは、人間の心理に深く関わるものですから、いわゆる「右脳センス」も非常に重要になります。その点で、文学部卒も「いける」分野ではあったようです。

とはいえ、営業の現場では「留学制度といったって、俺たちには関係ないよ」という空気があり、私も落ち込んでいたことがあります。そうした時に読んだ小林一三の本の中で、次の一行に出会ったのです。「志は高く持て。ただし、自分の足元の仕事をしっかりとやりやれ。それが志を実現する近道なのだ」。

そうか、ということ、す

ぐに挨拶から変えました。昨日までと違い、本日から元氣よく「まいどー」といった具合。ある日、営業先の問屋さんの社長でタイガースファンの方にこう言われました。ちようど、江川騒動で移籍してきた小林投手が奮闘していた頃のこと。デイリースポーツを前にして「魚谷君、最近の君には、この小林みたいな気迫を感じるで」。これは、うれしかった。そして、間もなく、特例でのコロンビア大学への留学決定を知らされたのでした。

ニューヨークで勉学に励む中、念願のアーモスト大学訪問も実現させました。図書館に残る新島先生のノートとその文字を見たときの感動は忘れることができません。

現在、私たち企業人には、この仕事で社会に対してどう貢献できるかが問われています。儲ければいい、という時代ではありません。言うならば、企業活動の中に、新島精神の中核である「良心」をいかに生かしていけるか、という課題です。

これまでも、多くの方々のお世話になりました。これから自分が若い世代を支援すること、その恩返しをしたいと思っています。

* 谷村和典(昭47・文)

同志社 スポーツ

同志社スポーツ部が大健闘!

話題と躍動溢れる写真を紹介いたします。
写真に関する記事は、東京校友会 HP でも紹介しておりますのでご覧ください。

アメリカンフットボール／強豪立教大学を相手に前半リードを奪う

アメリカンフットボール

**同志社WILD ROVER'S
VS 立教大学RUSHER'S**

6月8日、第68回定期戦が、アミノバイタルフィールド（調布市）で雨の中行われました。結果は前半13…6とリードするも、後半逆転され13…27で残念ながら敗戦となりました。

序盤は一進一退の攻防、第1Q終盤にRB菅谷（スポ3）のランで先制TD（6-0）。第2Qに入りパス攻撃が奏功、WR山崎（政策4）へのパスでTD（13-0）。その後のキックオフでの立教のビッグリターン、同志社のミスが重なり2本のFGを献上し前半終了（13-6）。

後半に入ると立教の反撃。パントリターン、ラン、パスと大きな前進を許し、計3TDを許し試合終了。関東1部TOP8に属する実力校の立教大学を相手に前半はリードして折り返し。現役にとつては悔しいながらも貴重な経験となったと思います。

秋のリーグ戦、甲子園ボウルを経てライスボウルに学生達が再び上京してくれる事を願っています。ワイルド・ローバーへ熱いご声援をよろしく願います。

和田隆志（平4・商）

◆ご案内とお願い◆

スポーツの競技会（試合）は、選手権やリーグ戦方式で順位を競う方式と、お互いの母校を訪問して定例で競技を行い切磋琢磨し、友情の交歓もする定期戦方式があります。ラグビー部は、既に慶應大学と100年以上、また、アメリカンフットボール部と陸上競技も立教大学や慶應大学と50年以上交歓が続いています。

また、硬式野球部が早稲田大学と交歓が再開したのはスポーツ関係者としては非常に喜ばしいことです。定期戦方式は、校友の皆様にも身近で応援していただける試合ですので、今後も可能な限り事前にご案内いたします。ぜひ応援にお越しくください。



西日本学生柔道大会



全日本大学選抜相撲大会



陸上慶応定期戦



ラグビー慶應大学定期戦



復活 硬式野球／同志社早稲田定期戦



ソフトテニス選手権大会



フェンシング／関西学生リーグ・フルール

ESS東京OB会 開催さる

梅雨のなか好天に恵まれた6月15日(日)の昼、同志社大学ESS東京OB会の年次総会・懇親パーティーがアグネスホテルで開催されました。ホールに満杯の73名のOBが同志社スピリットを再確認し、新しい出会いを楽しみました。

昭和28年卒の大先輩から、平成23年卒の若きメンバーまで、60年にまたがる幅広い世代が集う和やかなパーティーとなりました。

まずは近藤義彦代表による会のオープニング・アドレス。奇しくもちょうど150年前の6月14日に校祖新島襄が箱館から渡航したことなど歴史に言及。司会進行は熟練の藤田薫さん(昭47・文)。乾杯の音頭は流暢な英語で神田惣介さん(昭34・経)でした。

講演は海外各地でのご経験が豊富な牧野卓夫さん(昭40・経)による「モンゴル・心やさしい遊牧民のふるさと」。映像を交えての経験談は、日本に対して憧れと尊敬の心を持つモンゴルの人たちの心温まるお話でした。



歓談飲食で盛り上がった頃、全員が「席替え」。手順に従いテーブルを変わり、新しい交流を深めました。若い世代を中心に初参加15名による自己紹介。色々な分野で活躍されている方が多くて感心しました。続いて鈴木良之さん(昭40・経)の指導による歌唱、最後は並河和之副代表のリードにより恒例のDUESSソング、カレッジソング、同志社チアを高らかに歌い上げ、会は無事終了。名残を惜しみつつ再会を誓いました。森本裕子(世話人代表チーム昭44・経)

歩こう会新会員集!

歩こう会が2002年に発足してから12年を迎えました。仲間の数も増えて、月に1回都内や近郊のコースを楽しみ歩いていきます。卒業年度も学部も関係なく、同志社で学んだことの絆が会話も弾ませ、足取りも軽くなっていきます。あなたも楽しい仲間と一緒に歩いてみませんか。

●入会のお問い合わせは同志社東京歩こう会まで

外村泰三

☎090-2480-2554



東日本大震災 義援金報告



東京校友会では、東日本大震災被災学生支援募金と共に、コロンバンさん特製「八重さんクッキー」の販売(一個に付228円を寄付)をしており、皆様からのご支援に改めて感謝申し上げます。

今年の「春の集い」では226個、6月のESS東京OB会総会でも販売頂きました。また同志社生協様にも本支援趣旨にご賛同頂き、今出川・京田辺キャンパスの生協店舗で販売を開始大好評で、一年で1200個の販売を頂き、一個100円の支援募金を頂き、計12万円のご協力を頂きました。今年も上半期で五八五個の販売のようです。被災学生募金は今年38・41・42の各年次会で、また春の集い懇親会場での参加者の皆様から募金のご協力を頂きました。

これからも引き続きご協力頂きますよう、お願い申し上げます。

金屋憲二郎(昭45・商)

家族葬から社葬・お別れの会まで、
信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。

公益社

KOEKISHA

株式会社 公益社 ネットワーク東京 横浜・大阪・兵庫・奈良
東京一部上場 葬儀ホールディングスグループ

まずはお電話を。公益社 ご葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ

☎0120-347-556

http://www.koekisha.co.jp

通話料無料・携帯電話可

首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

◆東京本社(港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)

会館

- 公益社 用賀会館
- 公益社 高円寺会館
- 公益社 明大前会館
- 公益社 仙川会館
- 公益社 田園調布会館
- 公益社 雪谷会館
- 公益社 高輪会館
- 公益社 社会館 たまプラーザ

営業所

■青山ご葬儀相談室 ■日吉営業所 ■鶴見営業所

※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。

対応地域

首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

はりしまさのぶ
焼ホールディングス(株) 取締役相談役 播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業)

おかわよしりて
(株)公益社 法人営業推進部 部長 小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)

マーケティング研究会報告

6月4日(水)19時〜東京オ
フィスセミナー室に43名が
集まり、「実践マーケティング
講座」に聞き入りました。

講師 岩佐英史氏は、
1975年(昭和50年)法
学部卒、キリンビール副社長
をご退職後、現在は明治大学
大学院グローバルビジネス
研究科で非常勤講師をされ
ています。マーケティングの
知識が欲しい、社内に仲間が
なくケーススタディが知り
たい、そういう人は多いので
はないか、とお引き受けくだ
さいました。

マーケティング研究会は
次のみなさんのご尽力で運
営しています。

辻本秀幸氏(1986
工学部卒)「同志社人は、コ
ミュニケーション力が高い
人が相対的に多いと実感し
ています。この強味を軸に有
機的な繋がりを生み出して
ゆければと思います。」 橋
本哲也氏(1993 商学
部卒)「初めて参加した方々
から「こんな会があると

知っていたらずっと前から
参加していたのに」と聞きま
した。皆さん、同志社の輪を
広げていきましよう！」 吉
田太郎氏(2001 法学部
卒)「ブランドは人の心の
中にある」とのお言葉が、
大変印象に残りました。顧客
に一段と信頼されるために
は、人の心に訴えるような行
動を心掛けなければと、痛感
致しました。」 浅井健太氏
(2010 経済学部卒)「先
輩方のお話を聞くことはこ
れからの生き方、働き方に
とても影響を与えるもので
す。この会を多くの人に知っ
てもらいこれからの刺激と
なってもらいたいです。」

安永昌代(昭56・経)

「損保ジャパン・日本興亜クロバー会」発足

損保ジャパンと日本興亜は
九月一日に合併し、「損保ジャ
パン日本興亜」になります。

それに先立ち、両社に勤務
している同志社卒業生によつ
て新たに「損保ジャパン・日
本興亜クロバー会」が立ち
上げられました。設立にあた
り、有志で事務局を立ち上げ、
各学年代表を通じて1人1
人直接確認しながら名簿の整
理を進めました。

現在は東京で年に二回ク
ロバー会を開催しています。
合併前で名簿も未だ整備中で
すが、今年五月に開催したク
ロバー会には両社で約40名
の卒業生が参加し、会社の合
併に先駆けて「一体化」を進め
ました。現在は東京近郊に勤
務している卒業生を中心に活
動を行っています。将来的
には関西やその他エリア別の

開催も検討したいと考えてい
ます。また、幅広い年齢層が参
加することで、同窓の「絆」を
強め人脈構築や仕事での連携
に活かせるような「場」にもし
ていきたいと考えています。

この会は、卒業生が大学時
代に思いをはせ、新島先生の
「志」を今一度思い出して交流
を深め「絆」を更に強くし、自
身の会社生活と人生をより充
実した豊かなものにできるよ
う、引き続き活動が続けていき
たいと思います。

倉本久司(平2・商)



すみれ亭

昭和38年会俳句会

千年の
涼しさにより

延暦寺

丸山 黄雀

「千年の涼しさ」なる措辞は、海拔
八四八三米の山上での歴史を心にめぐ
らせているところから来る。
山上での物理的な今日の気温のこと
を言っているのでは決してない。
歴史上数々の過酷なできごとに千年後
の今、心肝寒からしめてのことであろう。
歴史の現場に望んで肚を据えろ、思
いがけない荘重な作品が生まれる。

(評・あかぎ倦鳥)

DAIKIN

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違うはず。
ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。



ダイキン工業株式会社

トピックス 同志社大学東京オフィスの開所式が盛大に行われました

5月21日(水)、3月に京橋イーストビルに引っ越した同志社大学東京オフィスの開所式が行われました。第1部と第2部の2部制とし、多くの招待客と学内外の関係者が集い、お祝いに寄せられた花々に囲まれ盛大に華やかにそして和やかに行われました。

お昼の第1部は同志社らしく礼拝形式で行われましたが、参加者は約60名でした。

オルガンの前奏に始まり藤原耕二企画部長の司会で讃美歌(234A)斉唱、石川立キリスト教文化センター所長による聖書朗読(マタイによる福音書7章24節〜29節)に続き、村田晃嗣学長による式辞



5月21日の開所式の様子はマスコミにも取り上げられた

があり、その後東京都中央区の矢田美英区長、中村友一校友会副会長から祝辞がありました。その後の昼食懇談会では前関西大学学長、現日本私立学校振興・共済事業団の河田第一理事長からお祝いのスピーチがありました。同志社中学で学ばれ毎朝彰栄館の鐘を鳴らされていたとのこと、懐かしい先生のお名前も出てきて楽しいスピーチでした。また野球解説者の宮本慎也氏もお見えになりました。

夕方からの第2部は、村田学長の記念講演会で約70名の参加者をお迎えし、藤原耕二企画部長の司会で開催されました。

最初に村山祐三東京オフィス担当副学長から「このオフィスを学生の就職活動の支援、産官学連携、校友との交流の場、東京への積極的な情報発信と東京での情報収集など多角的に有効活用し同志社の東京でのプレゼンスを高めることを期したい。また、これからも倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます」と式辞とご挨拶がありました。

続き「グローバル化社会における日本外交と教育」と題した村田学長の講演がありました。

同志社の特徴は三つあります。「一、京都に位置している。二、新島襄の明確な教育理念があり現在も生きている。三、キリスト教を教学の基礎にしている。」

これら特徴をベースに日本のグローバル化とそれに対応した豊かなグローバルキャリア、タレントを持つ人物を育てる。」という教育の在り方についてのお話がありました。

招待客の中には大使や判事のご経験者の方も何名かおられ講演後は活発な質疑応答がありました。講演会の後はギャラリールラウンジで立食パーティがありました。元英国特命全権大使の森アーツセンターの藤井宏昭理事長から「リベラルアーツ教育の伝統を持つ同志社に強く期待する」といったスピーチがありました。招待客は会社関係では、本社が京都で東京に支店を持つ会社や、ビルのオーナー会社、テナントの会社の方々がお見えでした。またその中に同志社出身者が多数おられたのにはビックリしました。

が、東京校友会のことを知って早速会員になって頂いた方もおられました。またマ



式辞を述べる村田晃嗣学長

スコミ関係の方も何名か来られており、5月30日(金)朝日新聞夕刊では「地方大、東京拠点に力」の記事の中で同志社東京オフィスが写真入りで大きく取り上げられました。就職活動で上京した学生のための更衣室や休憩室として使える和室も紹介されています。

今回の開所式の準備をされた東京オフィス牧野純子さんからは「以前の倍の約600平方メートルの広さがあり、セミナー室(104名、ディスプレイ、AV設備)会議室(24名)の字」が整備されています。二つのスペースは広く内外の方々に貸し出しされており、皆さんの積極的な利用をお待ちしています。使用ご希望の方は東京オフィス事務室に問い合わせ頂きたい」とのことでした。

早田重彦(昭41・経)

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制

早く
EARLY

広く
BROAD

深く
DEEP

明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル
FAX: 045-471-2377
E-mail: info@meicodenshi.com

045-471-2223

明光電子 |

検索

代表取締役 十川 正明
(昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)

同志社大学マンドリンクラブ 第一五回東京公演のお知らせ

大盛況いただいた創立100周年記念コンサートから早や四年、同志社大学マンドリンクラブが東京に帰って来ます。絶対に見逃せないコンサートは、次の日程で開催されます。

日程：9月12日(金)

時間：18時30分開場
19時開演

場所：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

(最寄り駅：渋谷駅)

入場料：1000円(高校生以下無料/要学生証提示)

なおコンサート入場券

その他連絡先は下記までお願いいたします。

同志社大学マンドリンクラブ

HP <http://smd.minim.ne.jp/>

Twitter @SMD_doshisha

マネージャー：妹尾

bem0646@mail3.doshisha.ac.jp

ac.jp

090-1078-4325

同志社東京アンサンブル 第一四回定期演奏会

同志社東京アンサンブルは、1999年に同志社交響楽団(京都)の関東在住OB/OGにより結成されたオーケストラです。現在の団員数は約30名で、二十代前半から七十代まで三世代にわたる幅広い年齢層のメンバーが世代を越えて音楽を楽しんでいます。

今年第一四回定期演奏会を次の内容でお届け致します。

日程：9月28日(日)

時間：13時30分開場/14時開演

場所：大田区民プラザ大ホール

(東急多摩川線下丸子駅そば)

入場料：無料(未就学児の入場はご遠慮下さい)

指揮：三矢幸子

(東京芸術大学器楽科オーボエ専攻卒)

ヴァイオリン：大西梓

(桐朋学園大学音楽部卒業)

W.A.モーツァルト：歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」

K.五八八序曲 M.ブルッフ

ヴァイオリン協奏曲第一番

ト短調 Op. 26 L.V.ベートーヴェン

交響曲第七番イ長調 Op. 92

連絡先：Webページ

http://www.geocities.jp/doshisha_tokyo_ensemble/

メールアドレス：

dte_info@yahoo.co.jp

編集後記

素晴らしい功績を残された藤田編集人の後を受け、96号から編集人を任命された42年工学部卒の片桐陽です。

ただ、編集作業に関して全く素人であり不安一杯ですが、編集委員の方々、校友の方々の協力を得て何とか努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて96号は、東京校友会年間最大行事である「春の集い」特集号です。今年は45年、55年の年次会の大変な努力の結果、昨年と同様500人を超える参加者が集い、盛大に開催されました。参加された皆様にも、その余韻をもう一度思い起こして頂ければと思います。

また、校友訪問は、このたび資生堂の代表取締役 執行役員社長に就任された魚谷雅彦さん(昭和52年文学部卒)に登場して頂きました。あの資生堂が「外部から招いた人材に初めて経営を託した」という事で大きな話題を集めています。「魚谷改革」を楽しみにしていきたいと思っています。

片桐陽(昭42・工)

へお詫びと訂正

2014年春の集いガイドブックの支部長ご挨拶の中で群馬県支部長様分を誤掲載致しました。正規のご挨拶は左記の通りです。

「2014同志社東京・春の集い」の開催を、お祝い申し上げます。校祖は「日本の将来を思い、自らに降りかかる辛苦を厭わず男児の決意をもつて千里を馳せてきた」とする漢詩を、ワイルド・ローバー号が香港に停泊中に書き付けられました。今年は、新島襄が函館から海外渡航して150年になり、先生の志にふれるため、「乗船之処碑前祭」に群馬からも参加します。それに先立ち、本日、東京で校友同士が母校のことを思い起こし、また、未来に向けて語り合える場があることに感謝をします。

2014年5月25日同志社校友会群馬県支部/支部長 中山捷介

(発行人 児玉正之)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL 2014.JUL NO.96

同志社東京校友会
〒104-0031
東京都中央区京橋2-7-19
京橋イースビル3F

電話 03-5579-9728
FAX 03-5579-9729
発行人 児玉正之
編集人 片桐 陽
デザイン デザインスタジオ クリエンス

<http://www.doshisha-tokyo.alumni.jp>

HP会員ページ
ログイン情報

ID =doshisha
PASS=1875

DHC

通販化粧品・
健康食品売上

No.1

価値ある品質を追求し続けるDHCは、最大量^{※2}のグルコサミン^{※3}1920mgと軟骨強化成分CBPを世界で初めて配合^{※4}した「パワーグルコサミン」を開発。かつてない働き関節系サブリを完成させました。これからもDHCは、日本最大級の健康食品企業として、健やかな毎日を応援いたします。

株式会社DHC

〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)



史上最強の
グルコサミン
世界初 CBPを配合



※1 2014年1月1日 日本流通産業新聞
通販・通販・EC売上高ランキング
※2 DHC史上 ※3 グルコサミン塩酸塩
※4 関節対策を主とする処方

<http://www.dhc.co.jp>